



メロン

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



この症状はどんな病気？～うどんこ病～

! 防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！
! ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！

【うどんこ病(*Sphaerotheca fuliginea*)】



主に葉に発生し、葉・葉柄・果実にも発生する。葉の表面に**白い粉状のカビ**を生じる。発生が激しいと裏面や葉柄などにも生じ、**全体が白くなり黄化して枯れあがる**。周年発生するが、**初夏と秋**に多発しやすい。露地栽培では、ウリ科や雑草の残渣などに病原菌が残り、伝染源となる。温室の周年栽培では病斑上の孢子が飛散する。**乾燥条件で多発**しやすく、生育後期に増加する。

【ハダニ類】



キク

葉の裏側に寄生し、吸汁加害された部分が**小さな白い斑点状**になる。密度が高くなると**くもの巣が張ったような状態**になったり、**葉が黄化し枯死**する。下葉から発生が増加し、上の新葉に移っていく。カンザワハダニは露地では冬季に休眠するが、ナミハダニは暖地ではほぼ休眠しない。両種とも施設内では無加温でも休眠せず、冬季にも繁殖する。**高温・乾燥条件**で増殖が激しく、**25℃では約10日で1世代**を繰り返し、1雌あたりの産卵数は100～150である。開花期に多発すると、**花数が少なくなり、果実の肥大も抑制され**被害が大きい。

IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	予防 治療		希釈倍数	使用 時期	回数	影響日数	
								ミツバチ	
U13、 9	うどんこ病	ショウチノスケフロアブル	○	○	2000倍	前日	2回	0日	
33	ハダニ類	ダニオーテフロアブル	—	—	2000倍	前日	2回	0日	
U06、 3	うどんこ病	パンチョTF顆粒水和剤	○	○	2000倍	前日	2回	0日	
5	コナジラミ類・アザミヤカ類・ ウリメカガ・ハダニ類	ディアナSC	—	—	2500～5000倍 (コナジラミ類:2500倍)	前日	2回	3日	
7	うどんこ病・つる枯病	アフェットフロアブル	○	—	2000～4000倍 (つる枯病:2000倍)	前日	3回	0日	
30	コナジラミ類・アザミヤカ類・ハダニ類・ ハダニ類・ウリメカガ・オオハダニ・ ハダニ類	グレーシア乳剤	—	—	2000倍	前日	2回	1日	
3	うどんこ病・つる枯病	スコア顆粒水和剤	○	○	2000倍	前日	3回	0日	
21A	アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類 うどんこ病	サンマイトフロアブル	—	—	1000～1500倍	3日前	2回	4日	

光合成能力UP!

ファイトマジック

1,000倍 葉面散布

キレートマグネシウム+各種微量元素

★葉にテリ・ツヤ・厚みUP!

★日照不良時の代謝の向上!



酷暑に打ち克つ

ヒートインパクト



暑さに負けない“強さ”を引き出す

◆光合成機能の低下による収量減対策

◆果菜類の糖度・肥大不足に!

果菜類・葉菜類使用例

1000倍 100ml/10a

本葉展開後～収穫前 2～3回 葉面散布

